

CVP コール スタジオ Web サービスのための TLS 1.2 サポートを有効にする プロシージャ

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[問題の要約](#)

[考えられる原因](#)

[推奨処置](#)

概要

この資料に Cisco カスタマ 音声門脈 (CVP) コール スタジオ Web サービスの TLS 1.2 サポートを有効にする方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- CVP コール スタジオ
- Transport Layer Security (TLS)
- Java Runtime Environment (JRE)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP サーバ 11.5
- CVP コール スタジオ 11.5

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

問題の要約

コール スタジオ Web サービス要素では、Web サービス サーバが TLS1.2 をサポートしても TLS 1.0 はネゴシエートされます。

考えられる原因

JRE 7 使用 TLS1.0 デフォルトで。

推奨処置

インストールして下さいパッチ CVP 10.5 を-ES24 (非難される) および ES26、統一された CVP リリース 10.5、11.0 および 11.5 のための CVP 11.0-ES23、CVP 11.5-ES7 それぞれ。

このパッチは TLS 1.2 のためのコンテキストを設定 するために Java を強制します従って CVP からのすべての発信 https 要求は TLS 1.2 を使用します。

注: 問題のために開くこの問題 [CSCvc39129was](#)。